

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月3 : /Mon.3

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111307			
科目番号 /Course Number	10160149			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	社会学 I : Sociology I			
担当教員名 / Instructor(s)	/(田島 知之) : TAJIMA Tomoyuki			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	本講義では、社会学とはどのようなものの見方をするのか、その基本的な考え方、概念を学ぶ。社会学の幅広い対象の中から、現代の具体的なテーマをいくつか取り上げ解説していく。自らの日常生活で出会う事象を、社会的な視点から捉えなおすことができるようになることを目指す。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	ガイダンス

	英		
2	日	第 2 回	社会学を学ぶ 1
	英		
3	日	第 3 回	社会学を学ぶ 2
	英		
4	日	第 4 回	社会学の展開 1
	英		
5	日	第 5 回	社会学の展開 2
	英		
6	日	第 6 回	家族とジェンダー 1
	英		
7	日	第 7 回	家族とジェンダー 2
	英		
8	日	第 8 回	集団と組織 1
	英		
9	日	第 9 回	集団と組織 2
	英		
10	日	第 10 回	メディアとコミュニケーション
	英		
11	日	第 11 回	民族とエスニシティ 1
	英		
12	日	第 12 回	民族とエスニシティ 2
	英		
13	日	第 13 回	グローバリゼーションと国家 1
	英		
14	日	第 14 回	グローバリゼーションと国家 2
	英		
15	日	第 15 回	まとめ
	英		

履修条件 Prerequisite(s)

日	三大学教養教育共同化科目であり、履修条件は特にない。 授業計画については受講人数や進捗状況などにより一部変更になることがある。 「社会学 2」とあわせて履修することが望ましい。
英	

授業時間外学習（予習・復習等）

Required study time, Preparation and review

日	・インターネットやテレビ、新聞などのニュースを意識して見るようにしてほしい。 ・授業内容の予習復習をもとに授業コメントをまとめる。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books

日	テキストは使用しない。参考書は授業中に適宜紹介する。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	平常点（講義内課題）と期末試験を総合して評価する。
---	---------------------------

英	
留意事項等 Point to consider	
日	本科目はオンライン講義により開講する。教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位習得に必要な学修時間を確保する計画である。 ただし、試験は対面で行う予定であるため留意すること。
英	